

幼珠連通信

発行責任者 大西 信二

日本人の正しい食事

会長 井上 文克

元気に米寿を迎えることが出来た私に、玄米食の素晴らしさを教えて下さった、医学博士沼田 勇先生の本をご紹介します。先生は、今年九十九歳で現役医師として活躍しておられます。先生の略歴は次の通りです。

1913年 茨城県生まれ。医学博士、1935年 ビタミンC酸化酵素発見。1941年 ビタミンB1分解酵素サイアミナーゼ（アノイリナーゼ）発見。1942年 チステイン存在下グルタチオン分析法創見。1943年 魚の血合の生理的意義の発見。1944年 野草600種の栄養分析。ビタミンの遺伝子支配発見。1945年 炊飯米長期保存法の研究。1946年 中支派遣軍150万人と一般邦人引き揚げ時、消毒剤皆無のなか、コレラ、赤痢など腸内菌による伝染病に対する予防法を創案（これを国連WHOが沼田法として採用）。1947年伊豆大仁にて開業。1954年 日本総合医学会創立。現在永世名誉会長。1970年 インドネシアに國賓として招待さる、1971年 スリランカに國賓として招待さる、1977年 台湾に國賓として招待さる。1983年 パングラディッシュ大統領主催ビスダナダ、マハテラ大僧正米寿の祝いに招待さる。著書「一億半病人を救う道」、「病は食から」、「医学の不安」以上3点は農山漁村文化協会。「飲食療法と健康」中國語。「幕末名医の食養学」光文社。1993年「沼田勇学術論文輯録」。1996年 特に 現代に生きる石塚左玄の食養・食育については、「日本人の正しい食事」農山漁村文化協会 TEL03-3585-1141にわかりやすく述べられている。

終章より一部ご紹介。「日本は、世界中の食物と料理にあふれて、世界の料理の展示國、ショーウィンドウといわれていますが、それが世界中の病気の展示國、ショーウィンドーという結果をもたらしていることに気づく人は少ないようです。

このような異常な現象は、主食を玄米から白米に変えた元禄、享保以降のことですが、その半面、日本ほど栄養学者を批判し、自然食を唱える民間人の多い國はありません。栄養学が西欧人の食生活を基準とした翻訳栄養学だったことが、当初、日本人に違和感を与えたことが、その一つの原因です。しかし、日本に三百万人にも及ぶ自然食がいるのは、佐伯 矩によって、日本に栄養学が確立される前、すなわち明治の中期に、食物の原理を打ち立て、食養の道、正しい食物の道を自然の道として、一大キャンペーンを繰り広げた石塚左玄という一大碩学がいたことの影響なのです。現在、自然食を唱える人びとの師系、系譜をたどると、ほぼ そのすべてが石塚左玄に突きあたります。したがって石塚左玄を知らずに自然食を語ることはできません。実に石塚左玄こそ自然食・玄米食の開祖なのです。最初に井戸を掘った人のことを忘れてはならない。

大阪市市議会で「そろばん教育」に関する質疑・応答！

3月9日、定例の大阪市議会の文教経済委員会において、井上英孝議員がそろばん指導についての質問が行われました。当日の質疑内容は大阪市議会 HP で映像で視聴できます。

質問①、先程、全国学力・学習状況の調査について触れましたが、本市の課題の中でも、基礎・基本の定着が上げられている。中でも読み・書き・計算などの基礎・基本の反復、徹底を図ることを重点に取り組んでいくと聞いています。計算と言えば、私の子どもの頃の経験によると、真剣にそろばんをやっている友達は頭の回転が速かったと記憶する。そろばん学習を通じて、位取りや数の概念を確かなものにするには、計算の基礎・基本を定着させていく過程でとても大事なことであるし、暗算力が向上し計算力が高まる。また、そろばん学習は集中力がつき、脳が活性化するなど、子どもにとって、その効果は大変、大きいと聞いている。計算力を高める上でも、そろばん教育に力を入れていくことが必要ではないかと思う。小学校の「そろばん」の指導は、どのようになっているのか。現状を聞きたい。

答弁 (大阪市教育委員会初等教育担当課長)、小学校学習指導要領の解説では、そろばんは古くから我が国で用いられており、珠を操作することによって、整数や小数を表すことができる便利な道具であること、計算の仕組みが分かると、加減乗除の計算に生かすこともできるなど、「そろばん」のよさについて述べられ、指導内容と授業時間数などについての詳細を説明。

質問②今、お聞きした小学校での「そろばん」指導時数は大変 少なく感じる。少ない時数でも中身の濃い指導をしていただきたいと思うが、小学校では、各学級担任が算数の指導をし、そろばんも教えている。そろばんが得意な担任が教える場合はよいが、得意でない担任が教える場合は、子どもの技能の習得にかなり差が出るのではないか。珠算教育連合会が「そろばん」指導の講師を派遣していると聞いている。専門家を活用することで、「そろばん」学習をより効果的に進めることができるのではないか。専門家の派遣について、各学校に周知していくことが必要ではないか。どうか。

答弁 (大阪市教育委員会初等教育担当課長) 「大阪市学校支援人材派遣バンク活用事業」の実施。各学校での当該事業の活用について述べ、議員の指摘された珠算教育連合会の方も、この人材バンクに「珠算教育のサポート」として登録してもらっている。平成21年度では、登録された講師の方々の力を借りて、市内小学校67校が算数の授業の中で、そろばんの仕組みや使い方などについて指導を受けている。また、珠算教育連合会からは、人材バンクとは別に、毎年春に講師派遣の案内が各学校へ届いている。教育委員会では校長会などの場で、この案内を周知し、珠算教育連合会の講師派遣が活用されるようにしていきたい。(一部、省略)

大阪市議会での定例委員会で、そろばん指導のあり方が議論されることは、きわめて珍しいことです。今後は、具体的に、そろばん指導の徹底を期するための方策をもっと議論していただき、珠算界の人的エネルギーが大阪市の子供達の学力向上に役立つとすれば、これに過ぎる喜びはございません。(世界に広がるそろばん文化から抜粋)

大阪府議会でも「そろばん教育強化に関する質疑」が行われる！

3月15日、大阪府議会教育常任委員会で行われた西田 薫府会議員の質疑の概況です。

西田議員の質問：戦前の教育というと軍国化教育ばかりが連想されるが、昔の教育は「読み・書き・そろばん」だったと思う。この読み・書き・そろばんをもっとしっかりとやっておればよかったと反省と後悔をしているが、私はそろばんだけはずっとやっていたので、今も実生活に於いて非常に役立っている。そこで、私はもっと、そろばん学習を普及すべきではないかと考えている。早速、調べたところ、兵庫県尼崎市がそろばんの教育特区として実施されている。是非、大阪府においても実施していただきたいと思う。そこで、現在、そろばんをどのように学習しているのか。まず、授業時間数などを教えて欲しい。

答弁(大阪府教育委員会角野小中学校課長)：そろばん学習についてお答えします。学校教育ではそろばんの仕組みについて理解を深め、簡単な足し算や引き算ができるようにするため、小学校3年生と4年生の「数と計算の領域」で取り扱うこととなっています。具体的には実際にそろばんを使いながら数の表し方や繰り上がり繰り下がり仕組みを理解し、整数や小数の足し算・引き算の仕方について学習をします。なお、3年生では概ね4時間、4年生では2時間程度の指導が行われています。

西田議員の質問：3年生で4時間、4年生では2時間・・・非常に少ないと思う。因みに習字の学習時間はどのぐらいか。

答弁(角野小中学校課長)：習字は週に1回程度、年間で30時間程度、実施されている。

西田議員の質問：習字が30時間で、そろばんが4時間～2時間。そろばん学習をすることによって、計算能力が上がると同時に、集中力がつくという調査結果が出ていると聞いています。我々の年代では子どもの頃にそろばんを習っていたという仲間が多いが、今の小学校では比較的若い先生も居られ、パソコンや電卓が普及していたので、逆に先生自身がそろばんを知らないというのではないかと思われる。そういう状況の中で、一体どのように、工夫されて4時間と2時間の授業をされているのかをお聞きしたい。

答弁(角野小中学校課長)：各小学校ではチームティーチングなど、複数の教員で指導し、経験の浅い教員はベテラン教員が教え方を指導するなど様々な工夫に取り組んでいます。

西田議員の質問：工夫をしながら取り組んでいるというが、外部から専門家の支援を受けながら行うのも一つの方法ではないか。

答弁(角野小中学校課長)：小学校においても専門的な知識を持つ外部の人材を活用することは、優れた技能などに触れることが可能になり、児童のそろばんに対する学習への興味が高まると共に、教員の指導の充実につながっていくものと考えています。現在、各小学校では、地域の人材の協力を得て、大阪府珠算教育連合会から補助教材の提供や講師の派遣をしていただくなど、地域と学校の実態に即した取り組みが行われています。

なお、同珠算連合会からの講師を活用している学校は年々増加し、今年は約200校となっています。(以下、省略)

今年3月に大阪市議会・大阪府議会において、そろばん学習のついて議論されましたが、全国の都道府県・市町村においても、珠算教育の話題を広げていただきたいものです。

2010年度 全日本ユース珠算選手権大会 盛大に開催！

本年度の全日本ユース珠算選手権大会は昨年度に続いて、当連盟が主催、京都珠算振興会・立命館小学校が共催して4月18日(日)正午、京都・立命館小学校にて開催しました。

午前8時、準備委員70数名による会場設営、午前9時30分から進行の打合わせ会。午前11時、選手受付開始、選手の会場へ入場。練習に励む会場には大会ムードが漂う。会場の体育館は、競技会場と階段式観覧席で二分され、観戦しやすい観覧席もほぼ満員。

参加選手は全国各地からアンダー10(満10才まで)99名・アンダー12(満12才まで)102名・アンダー15(満15才まで)89名の選手290名が集い、各テレビ局のカメラが並ぶ中で実施されることとなりました。大会開始直前の会場中央のスクリーンには、パワーポイントによる参加選手と学校名が放映される。

正午、「只今より、2010年度全日本ユース選手権大会を開催します」の言葉で開会宣言。主催・井上文克幼珠連会長の開会挨拶、立命館小学校校長の祝辞があり開会となる。

金本和祐大会委員長による演技委員の紹介により総合競技が開始する。木村英士演技委員の「用意！始め」の一声で、会場は緊張感がみなぎり、珠と鉛筆の音が会場に流れる。会場スクリーンには競技中の問題が大写し、観戦者にも競技問題を紹介。「やめて！」の声で珠と鉛筆の音が止まる。全国各地から一流の選手の集いであり、5桁×5桁のかけ算問題を暗算で計算する選手も見られる。さらに、見取算は殆どの選手は暗算で計算。全国各地から集う超一流の選手の集いであり、小学館編集長を始め来賓の方々に珠算技能の凄さと珠算教育のすばらしさを知っていただく機会となりました。

乗算・除算・見取算・乗暗算・除暗算・見取暗算の6種目の総合競技の後、種目別競技はかけ算6題を全員で予選を行ない、計算開始と同時に会場スクリーンにその問題が掲示、観戦者も問題を見ながら選手の動きを観戦。6種目を予選から準々決勝・準決勝で10名の決勝進出者を選出。

会場中央のスクリーンに種目毎の決勝進出者の名前・学校名がパワーポイントで表示され、種目別決勝戦の開始。壇上に1～10の席(計算時計器の設置)に着席し競技開始。計算完了と同時に各席の時計器ボタンを押すと計算時間を記録。得点と計算速度により、1位～3位までの順位が決定する方式で6種目が行なわれる。各種目とも1000分の1の時計で計算速度が表しされる。観覧席から驚嘆の声が上がり、入賞者に祝福の拍手が湧く。

フラッシュ暗算競技はテレビ局のカメラが動く中で競技が進められ、観客席から計算速度の速さに驚きの声もれる。

午後4時、表彰式が行われ、各部門10位～1位を役員・来賓から表彰。優勝者は当大会の名物となる特大トロフィーに大感激。表彰後、立命館小学校井本教頭から珠算大会の講評があり、来年も再会を願う言葉で閉会となりました。

読売テレビは当日のニュースとして午後7時のニュース番組で全国へ報道されました。

なお、大会後援の日本珠算連盟・(社)全国珠算教育連盟・(社)全国珠算学校連盟から次の各部門優勝者に表彰状と賞品を授与していただきました。

アンダー10 松原 潤(吹田市立西山田小学校) 900点

アンダー12 前島幸太郎(さいたま市立大原中学校) 900点

アンダー15 高倉佑一朗(早稲田実業学校高等部) 900点

【教育ひとくちメモ】 - 1 -

生徒の皆さんが楽しくそろばんを学習するために、生徒のみなさんの頑張りは当然ながら、保護者の皆さんのご理解とご協力がなければ、珠算振興を推進することができません。お子様の教育について、保護者のみなさんに教室からサポートする「教育一口メモ」をシリーズとして紹介します。

【教育ひとくちメモ】 <1>**子どもの躰は 日々の家庭生活で育てよう。**

近年、「小1プロブレム」の言葉が教育界で話題となっています。学校で教育崩壊というのは高校・中学校の問題とされてきましたが、最近は小学校でもこの教育崩壊らしき問題をかかえている小学校が増えていると言われています。授業中に先生の話を聞かず、ウロウロ歩き回ったり、おしゃべりしたり、物をなげたり、などなど、こらえ性のない小学1年生の問題行動に、先生達が手をやいている。これらはすべて、家庭教育の不在がもたらす結果であると考えます。

本来、親がしなければならぬ躰(しつけ)を学校に丸投げし、学校は家庭や親がしなかった躰を背負い込んで苦勞しているのが現状でしょう。

その原因は少子化と地域社会の教育力の低下で人と関わり合う体験の少ない子どもが増え、家で我慢したり譲ったりする経験が少なく、欲望を抑える機会が少ないことが指摘されています。

私達の珠算教室に入学した生徒の中にそのような現象の生徒もいますが、教室では他の生徒に迷惑をかけないように、その生徒には、決まりを約束させ、勝手な行動を制限し、厳しさをもって指導することに努めております。およそ、2、3ヶ月の在籍での指導で解消されますが、年々該当する生徒が増えています。

【教育ひとくちメモ】 <2>**将来のためになる努力を重ねることに努めよう。**

学習する努力、練習する努力の大切さは大人では理解できますが、子ども達に努力の大切さを理解させ、言い聞かせることが重要なことです。

一例として、相撲界は厳しい世界であり、いくら大学ですばぬけた強さを誇った選手でも、入門してすぐ通用するほど甘い世界ではありません。けいこ熱心が、相撲界で強くなるための絶対条件であり、毎日毎日、地道なけいこに汗を流し、練習を繰り返す、けいこを積み重ねなければ、いくら素質に恵まれていたとしても、一人前の関取になれません。そんな相撲界に「三年先のけいこ」という言葉があり、大きな成果というものは、こつこつと日々を怠ることなく辛抱して努力を続けて、はじめて達成されるものであり、ほんの短期間、がんばったぐらいで得られないことを言われています。

「三年先のけいこ」の大切さは何も相撲界ばかりでなく、お子様を育てる努力も同様であり、また、子ども達の学習・運動における努力の積み重ねも共通します。

特に、繰り返しの練習を必要とする「そろばん」学習は努力の積み重ねが上達という形で表され、試験の合格となります。子ども達には、努力すれば上達し、級が進むことの喜びを理解させるにはよく分かる教材と言えます。何事にも努力する人間に育ってほしいものです。

第36回 珠算教育研修会

そろばん倶楽部が主催する今年の珠算研修会は下記の日程で実施しますので、参加を希望される方は、お申し込みくださいますようお願いいたします。

期日：平成22年9月19日(日)午後1時開会 9月20日(祝月)午前11時解散
会場・宿泊：ホテル 池田 TEL 0557-81-9161

熱海市当会岸町12-40 <http://www.hotelikeda.co.jp/>

研修会議：9/19 午後1時～6時 9/20 午前9時～11時

研修方法：参加者各自が各教室運営の資料を提出し、発表する。(5～10分程度)

懇親会：午後7時～9時

会費：19000円(宿泊・食費など全て含む)当日総務にお支払いください。

参加申込み：6月30日までに届くよう、研修会参加の出欠を郵送または、

FAX(0743-74-0857)

〒630-0242 奈良県生駒市新生駒台11-14 古場 弘子総務委員まで

珠呟 しゅげん - 71 -

上から与えることが 教えることではありません。

一般に 教えるというと、知識、技術を持つ者が持たない者に覚えさせるというイメージがあります。そのため、与える者、与えられる者という上下関係になりやすく、教える者が高圧的になることがあります。

私達の教室において生徒に対して、私達の考え方一つをもって教育的効果を高めることができます。

嘗てバルセロナ オリンピックの平泳ぎ金メダリストであった岩崎恭子さんは、現在 水泳教室で選手指導にあたっておられます。

その中で障害者を含む子どもの指導で、騒ぐ子、黙々と泳ぐ子もいて、これまでの単に一般の技術指導を行ってきたことが 通用しないことを実感されたようです。

ある自閉症の女の子は水に入ることは平気で、岩崎先生の後をずっと泳いでついてきましたが、どうしても顔だけは水につけることができません。何とか一步先に進めたいと思った岩崎先生は、彼女の泳ぐ水面の下に潜って泳ぎました。すると、その女の子は潜った岩崎先生を見ようと、自然に顔を水につけて泳ぐことができました。岩崎先生は「上から技術を教えるだけでなく、下から支える教え方や同じ目線になる教え方もあるのだ」と悟られ、新しい指導方法の一つを習得されました。

私達の教室においても、嘗ての小学中・高学年の生徒が主流であった頃は一つの指導法で十分に教育効果をあげていましたが、近年では低学年指導や障害児への指導など普通一般の指導だけでなく、指導する生徒により指導方法を種々替えることが必要となりました。一つのパターンによる指導方法ではその教育効果を上げることができず、その生徒の理解度や状況に合わせて、生徒の目線に立って理解度をチェックしながら指導にあたることが要求されます。具体的には生徒と目線を同じ高さに合わせ、表情を察知して理解度を確かめながら、一步いっぽと学習を進めることが大切です。どの子にも計算できる喜びを与えるために、教材の準備と指導方法の研鑽に努めて、楽しい授業をするよう心がけましょう。

こども書き方物理学

日本書芸院参事 瀬戸 白鳳

美しい文字が書けたらいいな～あ。感動をあたえ、科学的思考力を養おう！

何と言っても、美しいの根源は「バランス、釣り合い」であろう。文字の場合、文字そのものの姿が倒れないで安定していること。それに、文字空間が均等で美しいこと。強弱のバランス、遅速のバランス、躍動感のバランス、すべては夫々のファクターが均衡して初めて、人の五感は美を感じるのである。

ペン字も筆字も共通していることだが、毛筆の文字の方がそれぞれが顕著に現れる。

下記の「空」字は右が美しい、左はバランスを崩して、不安定で感性的に美しいとは言えない。

ここで、下記の図版をご覧ください。町の公園で見かける遊戯具「シーソー」、我々子どもの時は「ぎったんばったん」と言ったようだ。図「A」は均衡しているが、図「B」のように一人増えると、シーソーの均衡は崩れる。それでは、この不均衡を修正するには如何すればよいだろうか。当然のことながら、図「C」のように、修正すればよい。支点との距離を調整すればよい。物理的に理解するならば、重力と重心との均衡の理論である。左右の重力が同じであれば、重心への距離は同じ。図(1)は重力が同一の場合、図(2)は重力が異なる場合で重心への距離が異なってバランスを保った例である。

再び、上記の「空」を見てみよう。「穴冠」は文字の中心線を基準にして、右の「空」は左右の距離に長短を作り、文字バランスを保った。左の「空」は左右の重力が異なっているが、重心との距離は同一に採ったためにバランスを崩した例である。物理的思考により文字造形理論を確立することによって、誰でもより正確に美しい文字が書けるのです。

主催・全国幼児珠算教育連盟 共催・京都珠算振興会・立命館小学校

2010年度 全日本ユース珠算選手権大会**総合競技 アンダー10**

- 第1位 松原 潤(吹田市立西山田小学校) 900点(満点)
 第2位 名嘉真尚也(うるま市立赤道小学校) 890点
 第3位 深町 理貴(大分大学教育福祉科学部附属小学校) 885点
 第4位 知念優里奈(北谷町立北谷小学校) 885点
 第5位 赤堀 愛果(私立岐阜聖徳学園大学附属小学校) 880点
 第6位 弥谷 拓哉(さいたま市立与野南小学校) 870点
 第7位 小米良千裕(大分大学教育福祉科学部附属小学校) 870点
 第8位 狩野 麿妃(長崎市立西町小学校) 865点
 第9位 黒澤 大地(流山市立小山小学校) 860点
 第10位 金本 大夢(生駒市立生駒台小学校) 860点

総合競技 アンダー12

- 第1位 前島幸太郎(さいたま市立大原中学校) 900点(満点)
 第2位 鈴木ひとみ(西宮市立瓦木中学校) 900点(満点)
 第3位 宮本理香子(中野区立若宮小学校) 895点
 第4位 中村 一輝(流山市立南流山小学校) 890点
 第5位 一 長門(大阪市立今宮小学校) 885点
 第6位 梶 匠詔(豊田市立土橋小学校) 880点
 第7位 仲村渠彩加(うるま市立具志川中学校) 880点
 第8位 金城 文彬(うるま市立具志川中学校) 875点
 第9位 広石 佳穂(岡山市立芳田小学校) 875点
 第10位 北村 瑠菜(千葉市立蘇我中学校) 870点

総合競技 アンダー15

- 第1位 高倉佑一朗(早稲田実業学校高等部) 900点(満点)
 第2位 原子 弘務(開智中学校) 900点(満点)
 第3位 神村 夏海(うるま市立具志川中学校) 900点(満点)
 第4位 関谷真生子(笠松町立笠松中学校) 895点
 第5位 松崎 翼(千葉市立蘇我中学校) 890点
 第6位 新垣 宏哉(沖縄尚学高等学校) 865点
 第7位 石黒 将大(岡山市立芳田中学校) 865点
 第8位 松本 真依(愛知県立豊橋商業高等学校) 865点
 第9位 平良美希絵(うるま市立具志川中学校) 860点
 第10位 杉本 浪乃(豊田市立梅坪台中学校) 860点

種目別競技(各種目第1位)

かけ算	高倉佑一朗	早稲田実業学校高等部	得点 6点	計算時間 18. 112秒
わり算	高倉佑一朗	早稲田実業学校高等部	得点 6点	計算時間 12. 057秒
みとり算	高倉佑一朗	早稲田実業学校高等部	得点 3点	計算時間 15. 569秒
かけ暗算	高倉佑一朗	早稲田実業学校高等部	得点 6点	計算時間 8. 947秒
わり暗算	関谷真生子	笠松町立笠松中学校	得点 6点	計算時間 6. 391秒
みとり暗算	高倉佑一朗	早稲田実業学校高等部	得点 3点	計算時間 7. 917秒